

JR連合

社員で考え社員のための労働運動を目指す企業内労働組合。
心とところをつなぐ相互扶助活動と、公正な社会を創ります。

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部



JREユニオン仙台地本

〒984-0051 宮城県仙台市若林区新寺2丁目1-20 桜井コーポ405号室

TEL 022(352)4679 (FAX兼用)

発行責任者 添田 寿男
編集責任者 齋藤 勝彦

ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は7月15日仙台市内において第7回地方定期大会を開催し、来賓、代議員、傍聴者ら31名が参加した。大会議長には宮城県分会から佐藤徹代議員を選出して議事が進められた。5名の代議員から運動方針を補強する質



第7回地方定期大会

民主的労働運動を次代に引き継ぐため
変革を巻き起こし、組織拡大に全力で取り組もう！

平成から令和の時代がスタートしたが、時代を取り巻く環境の変化に如何に対処するかが重要。働く者、家族の幸せ、会社の維持、発展、労働組合としての責任を果たすために、何をしなければならぬか、一人ひとりが考え、実践していか



執行委員長挨拶(要旨)

疑を受けた後、執行部から答弁を行った。討論を通して、民主的な労働組合の重要性。社友会では、社員を守れない、JR東日本の発展も無い。そのため全組合員一丸となって組織拡大に取り組み決意を固め合い、運動方針などすべての議案を満場一致で採決した。

瓦解したJR東労組は13、000人。今でも第1組合。35、000人が組合未加入者。私たちが一人ひとりの実行力での状況を打破していく。1・2・3運動の継続、レクリエーション、ボランティアを通じた活動、組合員総対話集会を実施し、意思統一をはかり組

ければならない。第25回参議院議員選挙、私たちの意見を代弁し国家の発展、国民の安全、生活を守る役割をしっかりと実行できる国会議員を送り込むことが重要。UAゼンセン組織内候補「田村まみ」氏の当選へ向け組織を挙げた取り組みをお願いする。

組織拡大、強化について

昨年加入の五十嵐さんは「会社施策とともに進めるまともな労働組合がなければ施策は失敗する。職場を守る、創るにはあたり前の労働組合が絶対的に必要だ。会社発展のため、ご利用されるお客さまのため、働く人の幸福のためにともに運動していく」と加入動機を述べた。

「お客さまの死傷事故とすべてのJR関係労働者の死亡事故・重大労災事故ゼロ」を目指し取り組んでいる、残念ながら事故は無くならない。JR連合の掲げる安全指針を基に、会社との議論を更に深めていく。技術継承は、まだまだ進んでいない。職場の中で率直に話し合える環境や、社員同士の信頼関係をキチンと構築していく事が重要。会社は、「グループ安全計画2023」や「変革2027」で安全を経営のトッププライオリティと位置づけ、「究極の安全」を追求すると明言しているが、労働組合としてチェック機能を発揮し、安全に対しては決して妥協せず、真摯に話し合い実効性の高い対策を創出する。安全で安定した輸送はわが社の商品である。それに磨

織拡大・強化への取り組みを実行する。また、組合員だけでなく、OBの方々を巻き込んだあらゆる手段で取り組んでいく。安全の確立に向けた取り組みについて

執行委員長

添田 寿男 仙台駅

執行副委員長
飯野 浩 リビット仙台駅

執行委員
鈴木 義一 総務部総務課(郡山)
齋藤 勝彦 新幹線総合車両センター

執行委員
青田 節雄 新幹線総合車両センター

執行委員
橋窪 吉則 白石蔵王駅

きをかけお客さまへ提供することが使命。
会社施策について

「変革2027」が提起され、会社組織の改編、ジョブローテーション、諸手当、賃金等これまでにない施策が矢継ぎ早に出されている。職場では、次から次へと出てくる施策に対して、疲労感やモチベーションの低下が出てきている。ある現場では一部の社員のみを対象に説明会を実施、現場長が「反対する者は厳正に対処する」と発言するなど、施策への取り組みに疑問を抱かざる得ない事象が発生している。

また、「変革2027」では、「地方を豊かに」と掲げられているが、大都市一極集中、少子高齢化、人口減など厳しい状況であり、駅の無人化、営業時間の短縮、設備の変更等、いつの間にか変わっていたという状況が本当に地域に根差した企業経営と言えるのか。地域との信頼関係は公共交通機関にとっては極めて重要である。また、労働組合として如何に地域に

貢献していくか。何が出るかを考えなければならぬ。

このように会社施策に対してイーストユニオンは「変革2019イーストイノベーション」を掲げ、「自らを変える。明日を創る」として、職場から会社が目指す変革に対し、信頼される労働組合として真剣に取り組み、経営者だけでなく社員が一丸となり進める事が大切だ。それには労使交渉で良いものにしてそれに向かって一緒に進んでいく。労使対等では概念であり、それには信頼関係構築が大切。対等とはお互いの欠点悪いところと足りないところを補い、時には対立しながら話し合う、そして決定したら協力しながら進んでいくことだ。会社施策に真剣に取り組み話し合えるのは、私たちジェイアール・イーストユニオンでしかない。

イーストユニオンにとって今年新たな一歩を踏み出す重要な年。今も階級闘争に明け暮れている左翼労働運動に毅然と立

ち向かい、私たちは「真の自由にして民主的労働運動」を目指し闘ってきた。この闘いに終止符を打ち、次の世代に継承させるには組織拡大しかない。私たちにはこの組織を大きくする責任がある。

組合員一人ひとりが奮起し自分の職場の人たちへの声掛けをし、なりふり構わず組織拡大に取り組み。この変革の時代に大きく躍進を成し遂げる決意である。

5人の代議員が積極的に発言

五十嵐 優一 代議員



中央本部大会で、中央執行委員を拝命した。緊張感を持って、今までの経験を生かしイースト運動を展開していく。

会社の発展と組合の発展は車の両輪。周りの人たちに労働組合の必要性やJR連合の運動について話している。組合不要

論が蔓延しているのは事実。まともな労働組合、良好な労使関係がJR東日本に築かれる事を待っている社員もいるし、様子を伺っている社員もいる。

この状況を何とか打破したい。動画サイトを活用して、動画により民主的労働運動の必要性や労働運動の楽しさとかを発信できないものか？。今までのやり方にこだわらない効果的なアプローチを展開したい。

真に建設的且つ民主的労働運動をJR東日本に根づかせるために最大限のご協力をお願いします。

石井 稔 代議員



周りの社員に組合の大切さなどを説明している。理解してくれるが社友会があるためか加入までは行かない。中堅クラスが組合に加入すれば流れは

変わる。地方本部として接触をお願いする。

柘達 長男 代議員



国鉄時代から現在までの民主化の戦いと成果について勉強が必要。歴史があるということを踏まえ、自信が生まれるし、運動に関する確信が生まれてくる。

労働組合未加入者に、このままではだめだ、未加入でいると問題がおきるんだという事を伝えていこう。

民主的労働運動をわかりやすく言うと言葉を大切にする運動。

橋本 康男 代議員



保存休暇制度についてエルダー社員となっても

継続をするべきだ。

水間 勉 代議員



JR東日本の幹部も労働組合が必要だと認識していると思う。革マル問題を解決することなく社友会を会社の組織にしたのは間違い。現場に組合あってこそ交渉や改善ができる、紙一枚タブレットに載せて、現場に周知、社員の意見を吸収したと勘違いしているのであれば、将来大きな労働問題を起こすと思っている。

JR東海やJR西は民主化のため会社として革マルと闘った。東日本は闘わずして会社が社友会を良しとするならば、民主化達成できないと思う。

平成5年からいろいろ苦勞しながら令和を迎えた。闘いを挑んだ我々の決意は火を消すことなく、65才最後などと言わずにやっつけていく。

比例代表、田村まみの当選を目指そう。

大会宣言 (案)

本日、私たちは「ホテルレオパレス仙台」において、第7回定期大会を開催し、安全を最重要課題と位置づけ、参加提言型運動の展開、変革の実現をめざし、そのための組織拡大を成し遂げるための運動方針を、満場一致で決定した。私たちは、JR東日本内においてJR連合を代表する労働組合として、会社と真摯に向き合いながら、議論を深め、多くの施策の転換点を乗り越えていかなければならない。そのためにも、真の企業内労働組合運動をさらに展開していくものである。

安全の確立は、労使双方の取り組むべき最重要課題である。社会的責任であり、お客様の信頼獲得のためである。決して近道はない。危険の予知と対策をはかるため、労働組合があるべき姿勢を示していくこと、チェック・提言機能を発揮することが重要である。引き続き、JR連合「安全指針」を基軸に、お客様の死傷事故・重大労災ゼロをめざしていく。

私たちジェイアール・イーストユニオンのめざすものは、JR東日本の未来ある発展と、働く者と家族の幸福の実現である。あたり前の、真に求められる労働組合運動を次代に継承していくために、ターニングポイントを向かえた今こそ、企業内労働組合運動の展開と、職場においては、安全や業務諸課題に取り組む姿勢を示し、明るく働きがいある職場づくり、仲間たちとともに力を合わせて前に進んで行こうという風土づくりを、組合員ひとり一人が実践していく。そして多くの仲間の結集を成し遂げ、JR連合10万名組織を達成し、新たな歴史を刻んでいこう。

現在、実施されている第25回参議院議員選挙では、私たちの声を国政に届けるために、JR連合の推薦議員候補者と、特に全国比例のU Aゼンセン「田村まみ」候補者の当選をめざしていく。そして、本年、実施される地方自治体選挙では、組織内議員の「小野一雄」巨理町議会議員をはじめ、推薦・支持候補者の当選に向けて、総がかりの支援行動をはかっていく。

新しい時代「令和」を迎えた。今こそ、私たちの躍進の時である。ジェイアール・イーストユニオン仙台地方本部は、歴史を切り拓くために、組織拡大に全力を尽くすべく、全組合員が一丸となって突き進んでいく。

以上、宣言する。

2019年7月15日

ジェイアール・イーストユニオン
仙台地方本部 第7回定期大会



JRエルダーを退職した
支倉さんと工藤さんへ記
念品を贈りました。



大会終了後の懇親会
安西OB会会長から挨拶
を戴きました。



乾杯の発声は五十嵐さん

OB会の鈴川さんから写真戴きました。ありがとうございます。